

# 試験結果報告書

---

## 生体の酸化還元電位

---

令和2年7月10日

株式会社 Onedum 殿

遠赤外線応用研究会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

---

報告書 No.220S- 1050

---

本件についてのお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

〒542-0081  
大阪市中央区南船場4-9-11 順横ビル3F

遠赤外線応用研究会  
TEL 06-6251-7619

# 試験結果報告書

No.220S-1050  
令和2年7月10日

株式会社 Onedum 殿

遠赤外線応用研究会  
〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 生体の酸化還元電位

試験試料 Air Design Card (シート)

測定条件 1) 測定日時 令和2年7月7日  
2) 測定機器 (株)リブアンドラブ社製 唾液酸化還元測定器

試験方法 健常な成年男子(68才)を被験者とし、使用前の酸化還元電位を測定した。次に、Air Design Card (シート) (10cm角)を持った状態で30分間使用後の酸化還元電位を測定した。

試験結果

生体酸化還元電位測定値

		増減値
使用前	88	-9
30分間使用後	79	

(単位:mV)

考察 生体の健康度を示す目安の一つである酸化還元電位は、Air Design Card (シート)を30分間使用後で9減少した。この要因が個人差によるものかどうかは分からないが、少なくともAir Design Card (シート)を長期間使用することで、生体の酸化還元電位が増加する可能性が示唆された。

本報告書は供試試料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

以上